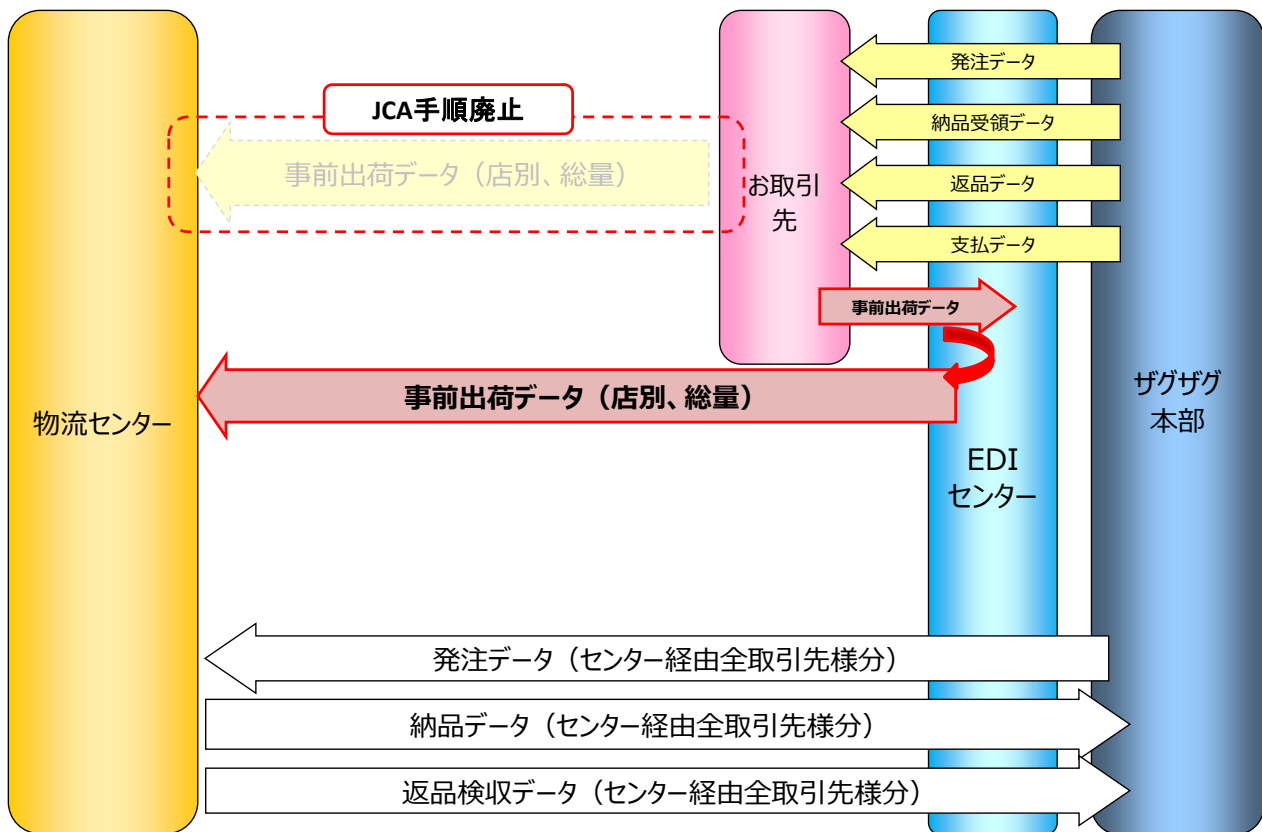


株式会社ザグザグ インターネットEDI
送受信ファイルレイアウト(事前出荷データ)
< 取引先向け >

第1版

株式会社 ザグザグ

■全体概要



- 1 これまで利用していたJCA手順でのデータ連係は廃止となり、BACREX通信を利用した連携に変更となります。
- 2 事前出荷データ (ASN) は、EDIセンターを介して物流センター様へ連携されるようになります。
- 3 連携方法が変更となっても、各センター様での取り決めは、変更ありません。
- 4 ファイルフォーマットについては変更ございません。
文字コード：S-JIS形式
ファイル名：ASN.TXT (ASN.LZH)

5 ファイル連携方法

事前出荷データの運用は専用サイトを利用して行います。
接続先 ⇒ <https://zagzag.kedi21.ne.jp/center>

※ログイン情報に関して

ユーザID：事前出荷データ連携用に改めて発行いたします。
パスワード：現行のパスワードを継続して利用いただけます。

①手動データ送信

- ・専用サイトへログインしていただき、「一括送信メニュー」より、「事前出荷データ一括送信」処理にて送信してください。

②自動データ送信

- ・「自動送受信パック」をご使用いただいている場合、設定を追加することで、利用すること可能です。
- ・設定内容については、自動送受信パック_設定表をご確認ください。



■ 共通仕様

■ ファイル名

送受信	データ種別	圧縮ファイル名	解凍ファイル名
送信	事前出荷データ	ASN.LZH	ASN.TXT

解凍ファイル名で作成したファイルを圧縮後、圧縮ファイル名で送信してください。

■ 文字コード、改行コード

文字コード: S-JIS(シフトJIS)コードとしてください。
改行コード: CRLFとしてください。

■ レコード構成

① 総量納品(通常)

← 256バイト →	
← 128バイト →	
納品データヘッダーレコード(Aレコード)	バラ明細レコード(Bレコード)
バラ明細レコード(Bレコード)	バラ明細レコード(Bレコード)
ITFレコード(Cレコード)	ITFレコード(Cレコード)
欠品レコード(Dレコード)	空き
納品データヘッダーレコード(Aレコード)	バラ明細レコード(Bレコード)
バラ明細レコード(Bレコード)	バラ明細レコード(Bレコード)
ITFレコード(Cレコード)	ITFレコード(Cレコード)
欠品レコード(Dレコード)	欠品レコード(Dレコード)
欠品レコード(Dレコード)	空き

※納品ヘッダーレコードは、発注データの店舗グループコード、共配センターコード、仕入先コード、センター納品日のくくりに対して1レコードのみ作成してください。

② 総量納品(新店ありの時)

← 256バイト →		
← 128バイト →		
納品データヘッダーレコード(Aレコード)	バラ明細レコード(Bレコード)	} 総量レコード
バラ明細レコード(Bレコード)	バラ明細レコード(Bレコード)	
ITFレコード(Cレコード)	ITFレコード(Cレコード)	
欠品レコード(Dレコード)	空き	
納品データヘッダーレコード(Aレコード)	バラ明細レコード(Bレコード)	
バラ明細レコード(Bレコード)	バラ明細レコード(Bレコード)	
ITFレコード(Cレコード)	ITFレコード(Cレコード)	
欠品レコード(Dレコード)	空き	
納品データヘッダーレコード(Hレコード)	店舗合計レコード(Gレコード)	
欠品レコード(Lレコード)	店舗合計レコード(Gレコード)	
欠品レコード(Lレコード)	空き	} 店別(新店)レコード 図は2店舗あり時
納品データヘッダーレコード(Hレコード)	店舗合計レコード(Gレコード)	
欠品レコード(Lレコード)	店舗合計レコード(Gレコード)	
欠品レコード(Lレコード)	空き	

※納品ヘッダーレコードは、発注データの店舗グループコード、共配センターコード、仕入先コード、センター納品日のくくりに対して1レコードのみ作成してください。

(新店発生時は、総量、店別で1レコードずつ)作成願います。

③ 店別納品

← 256バイト →	
← 128バイト →	
納品データヘッダーレコード(Hレコード)	店舗合計レコード(Gレコード)
欠品レコード(Lレコード)	欠品レコード(Lレコード)
店舗合計レコード(Gレコード)	欠品レコード(Lレコード)
店舗合計レコード(Gレコード)	欠品レコード(Lレコード)
欠品レコード(Lレコード)	空き
納品データヘッダーレコード(Hレコード)	店舗合計レコード(Gレコード)
欠品レコード(Lレコード)	欠品レコード(Lレコード)
店舗合計レコード(Gレコード)	欠品レコード(Lレコード)
店舗合計レコード(Gレコード)	欠品レコード(Lレコード)
欠品レコード(Lレコード)	空き

※納品ヘッダーレコードは、1店舗グループコード、1仕入先コードにつき1レコード作成願います。

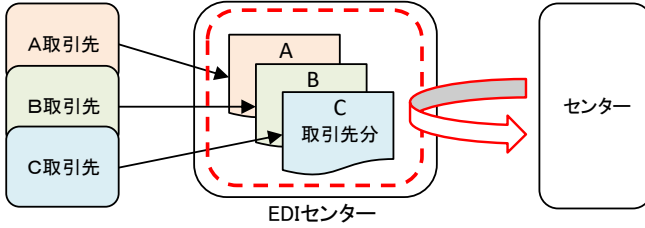
※店舗合計レコードは、1店舗単位に作成願います。

■ 共通仕様

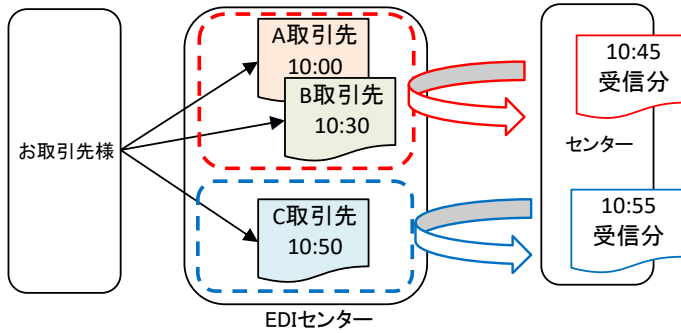
■ データ受信単位

各お取引先様から送信していただく事前出荷データについては、複数の共配センター様分を1ファイルに纏めて送信していただいても共配センター様ごとで複数回送信していただいても、どちらでも構いません。

・各取引先分を纏めて受信



・受信タイミング



- ・センター側での受信処理が行われる前までに送信されているデータが受信対象となる
- ・複数回受信を行う場合は、前回受信処理以降に送信されたデータが受信対象となる

■ 欠品理由コード

コード	欠品内容
01	廃番
02	在庫数見込み違い
03	メーカー欠品(短期)
04	メーカー欠品(長期)
05	配送問題
06	発注ミス(ZAGZAG様)
07	マスタミス(ZAGZAG様)
08	客注入荷前(ZAGZAG様)
09	計画数オーバー(ZAGZAG様)

■ 事前出荷データファイルレイアウト(総量納品)

ヘッダーレコード

開始位置	終了位置	項目名	バイト数	空白	形式		備考
1	2	レコード区分	1		X(1)	固定値 "A"	"A"固定(ヘッダー)
2	3	帳票区分	2		X(2)	文字列(半角)	"△△"スペース
4	11	物流センターコード	8		X(8)	文字列(半角)	発注データ上の物流センターコード
12	17	仕入先コード	6		X(6)	文字列(半角)	仕入先コード 先頭ゼロ埋め
18	19	ステーションコード	2		X(2)	文字列(半角)	"00"固定
20	29	小売企業コード	10		X(10)	文字列(半角)	"806300"後ろ4桁空白
30	37	センター納品日	8		9(8)	文字列(日時)	YYYYMMDD 発注データ上のセンター納品日
38	45	データ作成日	8		9(8)	文字列(日時)	YYYYMMDD
46	51	データ作成時刻	6		9(6)	文字列(日時)	hhmmss
52	71	仕入先名称	20		X(20)	文字列(半角)	仕入先名称カナ
72	73	店舗グループコード	2		X(2)	文字列(半角)	発注データ上の店舗グループコード
74	128	余白	55		X(55)	文字列(半角)	
		CRLF					
		レコード長(バイト数)		128			

1. 発注データの店舗グループコード、共配センターコード、仕入先コード、センター納品日のくりに対して1レコードのみ作成してください

明細レコード

開始位置	終了位置	項目名	バイト数	空白	形式		備考
1	2	レコード区分	1		X(1)	固定値 "B"	"B"固定(バラ)
2	3	帳票区分	2		X(2)	文字列(半角)	"△△"スペース
4	9	仕入先コード	6		X(6)	文字列(半角)	仕入先コード 先頭ゼロ埋め
10	11	ステーションコード	2		X(2)	文字列(半角)	"00"固定
12	21	小売企業コード	10		X(10)	文字列(半角)	"806300"後ろ4桁空白
22	34	商品コード	13		X(13)	文字列(半角)	発注データの商品コード
35	38	発注単位数	4		9(4)	数値(整数)	現状未使用(オールゼロ)
39	44	バラ出荷数	6		9(5)V9(1)	数値(整数)	バラ出荷数量
45	48	ボール入数	4		9(4)	数値(整数)	ボール入数
49	128	余白	80		X(25)	文字列(半角)	
		CRLF					
		レコード長(バイト数)		128			

1. バラ納品分に対する明細を作成してください。(バラ納品対象がない場合は作成する必要はありません)
2. 1アイテム(JANコード)に対して1レコードのみ作成してください。
3. 以下の場合は必ずボール単位(ボール入数)をセットしてください。
 - ・ボール(中箱など)とバラに別の商品コード(JANコードなど)が印刷されていて、それぞれの荷姿で小売り販売が可能な商品。
 - ・台紙に何本かの商品が貼ってあるボール(エンドサイド用フック商品)など、分割してしまうと商品として成立しなくなってしまうもの。
 それ以外の場合でボールがない場合や、正確なボール入数が分からない場合は"0001"をセットしてください。

■ 事前出荷データファイルレイアウト(総量納品)

ITFレコード

開始位置	終了位置	項目名	バイト数	空白	形式	備考
1	2	レコード区分	1		X(1) 固定値 "C"	"C"固定(ケース)
2	3	帳票区分	2		X(2) 文字列(半角)	"△△"スペース
4	9	仕入先コード	6		X(6) 文字列(半角)	仕入先コード 先頭ゼロ埋め
10	11	ステーションコード	2		X(2) 文字列(半角)	"00"固定
12	21	小売企業コード	10		X(10) 文字列(半角)	"806300"後ろ4桁空白
22	34	商品コード	13		X(13) 文字列(半角)	発注データの商品コード
35	50	ITFコード	16		X(16) 文字列(半角)	14桁の場合は、後ろスペース
51	54	入数(梱包内数量)	4		9(4) 数値(整数)	1ケース荷姿あたりのバラ入数
55	60	ケース出荷総数	6		9(5)V9(1) 数値(整数)	出荷バラ換算数
61	65	出荷ケース数	5		9(5) 数値(整数)	ケース数
66	69	ボール入数	4		X(25) 文字列(半角)	ボール入数
70	128	余白	59		X(25) 文字列(半角)	
		CRLF				
レコード長(バイト数)			128			

1. ケース納品分の明細を作成してください。ケース納品対象がない場合には作成する必要はありません。
2. 1ITFコードに対して、1レコードのみ作成してください。
3. 発注商品コードは、店別発注データの商品コードをそのままセットしてください。オールスペースは受け付けられません。
ITFコードは納品されるケースに印字されているコードをセットしてください。印字されていない場合はITF仕様に基づいて設定し、ケースに貼付してください。
4. 以下の場合は必ずボール数(入数)をセットしてください。
 - ・ボール(中箱など)とバラに別の商品コード(JANコードなど)が印刷されていて、それぞれの荷姿で小売り販売が可能な商品。
 - ・台紙に何本かの商品が貼ってあるボール(エンドサイド用フック商品)など、分割してしまうと商品として成立しなくなってしまうもの。
 - それ以外の場合はボールがない場合や、正確なボール入数が分からない場合は"0001"をセットしてください。
5. 同一商品でピース納品分がある場合には、必ず同じボール入数の商品を納品してください。
また、バラ商品明細レコードとITFレコードのボール入数の値も一致させてください。
6. 納品されるケースは全て同一入数、同一ボール構成、同一ITFコードのものを納品してください。
また、ITFコードが同一でも入数、及びボール構成が異なるものは受け付けられません。
例えば、入数(梱包内数量)が30で等しくても、内容が5×6(5本入中箱が6箱入り)と、10×3(10本入中箱が3箱入り)のケースを同時納品することは出来ません。
7. ケース出荷本数は必ず、「ケース出荷総数=梱包内数量×出荷ケース」になるようにセットしてください。
8. ITFコードが14桁(標準ITF)の場合左詰めでセットし、余白は"△"スペースでうめてください。
9. 出荷ケース数の算出に使用する梱包内数量は、店別発注データの入数ではなく、発注JANを1とした場合のメーカー正梱内本数を使用してください。

欠品レコード

開始位置	終了位置	項目名	バイト数	空白	形式	備考
1	2	レコード区分	1		X(1) 固定値 "D"	"D"固定(欠品)
2	3	帳票区分	2		X(2) 文字列(半角)	"△△"スペース
4	9	仕入先コード	6		X(6) 文字列(半角)	仕入先コード 先頭ゼロ埋め
10	11	ステーションコード	2		X(2) 文字列(半角)	"00"固定
12	21	小売企業コード	10		X(10) 文字列(半角)	"806300"後ろ4桁空白
22	34	商品コード	13		X(13) 文字列(半角)	発注データの商品コード
35	40	発注数量	6		9(5)V9(1) 数値(整数)	商品ごとの総数量
41	44	発注単位	4		9(4) 数値(整数)	現状未使用(オールゼロ)
45	50	欠品数量	6		9(5)V9(1) 数値(整数)	欠品数量(バラ換算)
51	52	欠品理由コード	2		X(2) 文字列(半角)	
53	128	余白	76		X(25) 文字列(半角)	
		CRLF				
レコード長(バイト数)			128			

1. 発注数量に対して欠品が発生した場合、その明細を必ず作成してください。欠品がない場合には作成する必要はありません。
2. 発注商品レコードに対して1レコードのみ作成してください。
3. 発注日が異なる場合でも、納品日が同じ発注がありますので、発注数量はそちらを合計してください。
例えば、先付け発注と通常発注で、同一商品が同じ納品指定日になったばあいなど。

■ 事前出荷データファイルレイアウト(店別納品)

ヘッダーレコード

開始位置	終了位置	項目名	バイト数	空白	形式	備考
1	2	レコード区分	1		X(1) 固定値 "H"	"H"固定(ヘッダー)
2	3	帳票区分	2		X(2) 文字列(半角)	"△△"スペース
4	11	物流センターコード	8		X(8) 文字列(半角)	発注データ上の物流センターコード
12	17	仕入先コード	6		X(6) 文字列(半角)	仕入先コード 先頭ゼロ埋め
18	19	ステーションコード	2		X(2) 文字列(半角)	"00"固定
20	29	小売企業コード	10		X(10) 文字列(半角)	"806300"後ろ4桁空白
30	37	センター納品日	8		9(8) 文字列(日時)	YYYYMMDD 発注データ上のセンター納品日
38	45	データ作成日	8		9(8) 文字列(日時)	YYYYMMDD
46	51	データ作成時刻	6		9(6) 文字列(日時)	hhmmss
52	71	仕入先名称	20		X(20) 文字列(半角)	仕入先名称カナ
72	73	店舗グループコード	2		X(2) 文字列(半角)	発注データ上の店舗グループコード
74	128	余白	55		X(55) 文字列(半角)	
		CRLF				
		レコード長(バイト数)		128		

1. 発注データの店舗グループコード、共配センターコード、仕入先コード、センター納品日のくりに対して1レコードのみ作成してください

店舗合計レコード

開始位置	終了位置	項目名	バイト数	空白	形式	備考
1	2	レコード区分	1		X(1) 固定値 "G"	"G"固定
2	3	帳票区分	2		X(2) 文字列(半角)	"△△"スペース
4	9	仕入先コード	6		X(6) 文字列(半角)	仕入先コード 先頭ゼロ埋め
10	11	ステーションコード	2		X(2) 文字列(半角)	"00"固定
12	21	小売企業コード	10		X(10) 文字列(半角)	"806300"後ろ4桁空白
22	26	店コード	5		X(5) 文字列(半角)	店舗コード 先頭ゼロ埋め
27	31	ケース入数	5		9(5) 数値(整数)	ケース数(正値)
32	36	オリコン数	5		9(5) 数値(整数)	バラ詰合せ数 (オリコン、ダンボール含む)
37	41	合計個口数	5		9(5) 数値(整数)	店舗分の納品総口数=PDラベルの枚数
42	61	余白	20		X(10) 文字列(半角)	
62	81	店名	20		X(10) 文字列(半角)	発注データの店舗名称
82	82	新店区分	1		X(10) 文字列(半角)	発注データの新店区分
83	128	余白	46		X(10) 文字列(半角)	
		CRLF				
		レコード長(バイト数)		128		

1. 店舗単位に必ず1レコードのみ作成してください。
2. ケース数とバラ詰合せ口数をセットされるお取引先様は、必ず合計個口数=ケース数+バラ詰合せ口数になるようにしてください。
ケース数とバラ詰合せ口数がセット出来ないお取引先様は、ケース数とバラ詰合せ口数にそれぞれ"00000"をセットしてください。
ケース数とバラ詰合せ口数がセット出来ないお取引先様でも、合計個口数は、納品される対象店舗の総口数を必ずセットしてください(対象店に対して全商品が欠品になる以外は、合計個口数に"00000"はセットしないでください。)
3. 合計個口数にはEOS発注センター納品分以外(店直納品、配送代行、販促物等)のものは加えないでください。

■ 事前出荷データファイルレイアウト(店別納品)

欠品レコード

開始位置	終了位置	項目名	バイト数	空白	形式	備考
1	2	レコード区分	1		X(1) 固定値 "L"	"L"固定(欠品)
2	3	帳票区分	2		X(2) 文字列(半角)	"△△"スペース
4	9	仕入先コード	6		X(6) 文字列(半角)	仕入先コード 先頭ゼロ埋め
10	11	ステーションコード	2		X(2) 文字列(半角)	"00"固定
12	21	小売企業コード	10		X(10) 文字列(半角)	"806300"後ろ4桁空白
22	34	商品コード	13		X(13) 文字列(半角)	発注データの商品コード
35	40	発注数量	6		9(5)V9(1) 数値(整数)	商品ごとの総数量
41	44	発注単位数	4		9(4) 数値(整数)	現状未使用(オールゼロ)
45	50	欠品数量	6		9(5)V9(1) 数値(整数)	欠品数量(バラ換算)
51	52	欠品理由コード	2		X(2) 文字列(半角)	
53	61	伝票番号	9		X(9) 文字列(半角)	発注データの伝票番号
62	63	伝票行No	2		X(2) 文字列(半角)	発注データの伝票行番号
64	71	発注日	8		9(8) 文字列(日時)	YYYYMMDD
72	128	余白	57		X(57) 文字列(半角)	
		CRLF				
		レコード長(バイト数)		128		

1. 発注数量に対して欠品が発生した場合、その明細を必ず作成してください。欠品がない場合には作成する必要はありません。
2. 伝票が全欠品の場合でも、必ず作成してください。
3. 欠品区分は必ず設定するようにお願いします。